

文化財講演会

汾陽寺「仏涅槃図」を読み解く

汾陽寺(関市武芸川町谷口)所蔵の「仏涅槃図」は、平安時代の貴重な作品で、国の重要文化財に指定されています。「涅槃図」とは釈迦が亡くなったときの様子を描いた仏画で、悲しむ人々や動物が描かれています。今回は、涅槃図の見方や汾陽寺所蔵の作品についてわかりやすく紹介します。



講師 森實久美子さん(九州国立博物館研究員)
日時 令和8(2026)年1月17日(土) 午後1時～3時
会場 わかくさ・プラザ 学習情報館多目的ホール(関市若草通 2-1)
参加費 無料
定員 200人
参加方法 当日午後0時30分からホール前で参加受付
主催 関市文化財活用事業実行委員会



森實久美子さん